

国際交流ひろば



はじめまして！ イザベル・ハーターです

グーテン・ターク（こんにちは）。8月から市役所企画課に国際交流員として勤務している、ドイツ出身のイザベル・ハーターです。みなさんにごあいさつできることに感謝します。

前任者のビルギット・リンクさんの後を受け、ドイツの自然や文化、国際交流員の仕事などについて紹介していきます。

仕事をすることができ、故郷と同じように自然豊かな鳥取で生活できることをとてもうれしく思います。

鳥取市の国際交流員として、いろいろなことチャレンジしてみたいと思います。特に、今年十一月に行われる予定の鳥取市とドイツのハーナウ市（ヘッセン州）の姉妹都市提携と交流事業が無事に行われるよう、関係者のみなさんと一生懸命準備を進めているところです。また、学校や公民館などへ出かけて、できるだけ多くの方々と交流の輪を広げたいと思います。

ドイツのことについてご質問があれば、気軽にたずねてください。楽しくお話ししましょう。

日本人・イタリア人と共同生活

私は、姉・弟とともに幼年時代を南ドイツのボーデン湖のほとりにある「モース・ヴァイラー」という小さな村で過ごしました。この自然豊かな故郷で、高校卒業まで暮らしました。大学では外国生活、そして都会生活の経験も積もうと思い、スコットランド イギリス のエジンバラ市で一年間アルバイトをしながら英語を学びました。そのときの一番貴重な経験は、日本人とイタリア人の女性と一緒に、一つのアパートで共同生活

をしたことです。もちろん、異なった国の人が集まるということとで、トラブルもありましたが、それ以上にたくさん楽しい思い出が心に残っています。

このとき、日本人の知り合いが増えたこと、そして日本語と日本文化に関しての興味が増したことが理由で、ドイツに帰国後は、テュービンゲン大学で人類学と日本語を専門に学びました。そして、テュービンゲン大学と立教大学の間の交換留学協定により、日本にも一年間留学することができました。このときは、ボランティアとして、その時に住んでいた埼玉県蕨市と

多くのみなさんと交流の輪を

今年二月にケルン大学を修了した後、以前から大学卒業後は国際交流に関心があり、できれば日本に関係がある仕事を見つけないかと思っていたので、「JETプログラム」という日本の制度に申し込みました。「JETプログラム」の目的は、日本と諸外国との相互理解を深めるとともに日本の地域レベルの国際交流を進めることです。幸いにも、日本で国際交流員として



美しい自然に囲まれたモース・ヴァイラーの風景